

ズブぬれの生産調整 現地確認第一日目

向こうのとうもろこし畑のわきに見える立札がこの地番の申請地だ。図面の場所に間違いのない朝の大雨を予測して申請人はビニール袋に立札を入れてしっかりと棒に結んである。場所大字木場字堤〇〇番地、申請人何某、調整面積、現地々目、休憩確認方法、押印と現地確認者の証言にもとづいて野帳が記載される。次の申請地を遡る。これは転作だ、一枚の中に混在する作目は里芋、枝豆、とうもろこしあり農家の努力が滲んでくる。作目毎の作付面積把握に若干の時間がかかる。とにかく午前中



また、某農家組合長持出しの農用車が危険物を踏んでパンクするなど文字どおりの、叩かれ農政に苦笑する。計画は遂に一日と変更せざるを得なかった。ともあれ米生産調整という大きな農業革命で初めて試みた現地確認の仕事のなかでいろいろなこと胸に飛来してくる。或る人は休耕、或る人は転作によって農家生活の再建をはからなければならぬ矛盾をどう受けとめてよいか、転作事業にしても、国が考える。又農家の努力ほどに儲けはない。奨励金、プラス転作々目、即ち米価以上の所得効果は現状ではなかなか困難である。先般の新聞記事にもあるように、或、農作物の野菜は生産過剰と(価格暴落)でまともて廃棄処分するなるともすれば、畑作物生産調整農政ともなりかねないようだ。とするならば本年の稲作状況もまづ余程の災害が発生しない限り、平年反収は開運しないようだ。やはりうまい米作りが本村農業の指針となればなら

明るく正しい選挙標語

自治も選挙も真心一つ

近郊地帯としての地理的条件から中小企業の進出並びに住宅地帯として住宅の建設が年々増加し、昭和四十年以降の現象が顕著となり、更に生活文化の向上等により水の需要が急激に増加し、昭和四十二年の急激に人口一六、三八一人、一日最大給水量四、五九三と給水量においては既に当初計画の施設能力を超え今後の需要の推移からして必要を満たすことが不可能な状態から長期拡張計画が必要となり、目標年次における計画給水量人口二、〇〇〇人、給水量一、〇〇〇として計画された、その後の水の需要は更に増大し、四十二年には一日平均二一六、一日最大給水量五、二〇六、昭和四十四年一日平均

上水道第一回拡張計画による急速沈澱池の増設工事が大字金巻地内の浄水場に施行されている。この拡張計画は昭和五十三年を給水目標年次とし四十四年度を初年度として昭和四十八年度迄の五ヶ年事業として進められているもので、総事業費三億六千万円を予定し別表の施設を計画している。四十四年度工事として急速ろ過池(処理能力日量五、二八〇)一池、取水ポンプ一台、急速沈澱池一池(処理能力日量六、〇〇〇)一池であるが沈澱池を除く施設については昨年完成し、八月以降稼働して給水のピンチ時にその能力を発揮したが、沈澱池については計画変更等の事由により着工が三月末となり四十五年度までの繰越工事として現在工事施行中である。又昭和四十五年年度として沈澱池一池(処理能力六、〇〇〇)とその他の附帯設備も四十四年度工事と同時着工、八月末を目標に工事が進行中であり更に今秋には取水施設(中ノ川より樋管による取水)が予定されており現在設計の段階となっている。

第一回拡張計画は数年前よりその必要性が迫られていたもので、本村水道事業の建設当初給水能力一日当り三、六〇〇、計画給水一八、〇〇〇人、一人当たり平均使用量を二〇〇とし給水を開始してきたが、都市

交通事故相談室(2)

2 損害賠償のなかみ
一口に交通事故の損害賠償と申しましても、そのなかには実在の損害賠償の要素があり、加害者による損害賠償しなればならないか、また、被害者はどんなものを請求できるか、大筋をまとめてみます。

1 本人が生きていたら、将来得られたはずの収入
普通は、ホフマン式計算方法というものが算出されます。これは、大体次のような考え方にまとまっています。

●社会一般からみて、あと何年働いたか(就労可能年数) ↓ その間の純収入(所得から生活費を差引いたもの)は、総額でどのくらいになるか ↓ いま、それを一時にもらおうとすれば、就労可能年数だけの利息(年五分の単利)を差引いて、いくらかになるか ↓ ということで、現在の時点での損害額を算出するので、(算出結果の一例)年令35才の会社員で、月給4万円・ボーナス年間20万円の人の場合、

道路交通法の改正

八月二十日施行
飲酒運転に対する規則の強化
※車輛の飲酒運転が一切禁止される。つまり一杯でも飲酒しての車輛運転はできないことにも罰則が大幅に引き上げられている点が注目される。

免許の欠格期間の延長
※悪質な違反、事故により免許を取り消された場合の免許を受けることができない期間は、一年以上三年までの範囲内で延長される。(注、現行では一年である)

遊園地が二つに
国道八号線を中心として年々激しくなる交通量に加えて人口の集中する大野町周辺は、子供の遊び場がありませんでしたが大野町より諏訪社境内敷地の提供の申し出がありましたので現在工事中でお盆までに完成する予定です。

主な工事内容は次のとおりです。敷地面積一、六三二㎡の中へ盛土、便所、水呑場、照明、砂場、ふじ棚に遊具の設備をします。

夏季の交通事故を防止

例年夏季に入ると交通事故による死傷者は激増しているが、特に8月は各年とも月間の最高を示している。交通事故が激増する要因としては、各学校が夏季休暇に入ること、海水浴や夏祭りなどにより自動車交通量が急増すること、レジャーや長距離運転からくる疲労や暑さによる気のゆるみなどである。8月中の交通事故発生状況は13日を中心とする10日間に集中しており、死傷者数も激増している。この運動は次の事項を重点に実施されます。

◎酒よ運動の徹底
帰省、暑祭、夏祭りなど飲酒の機会が多くなりますので、飲酒は絶対運転しないでください。

◎無免許運転の追放
家庭から無免許運転を出さないよう、家族会議で申し合わせをする。

◎過労運転の追放
長距離運転に際しては、休憩を十分にとり、また交代要員を確保するよう。

◎歩行者事故の追放
歩行者は歩行者の横断、安全を妨げないこと。

◎歩行者は右側通行正しい横断をしましょう。

◎家庭における指導
ア、保護者自身が交通規則を守り、子どもにも模範を示すようにする。

イ、道路への飛び出し、車の直前直後横断および路上遊びなどによる事故の多発と自宅周辺危険箇所について話し合う。

ウ、幼児のひとり歩きは絶対させない。

エ、こどもが外出するときは、その都度交通安全事故にあわないよう具体的な注意を与える。

オ、保護者は自転車、バイクなどの車体点検を児童生徒に習慣づけることも自らも実施すること。

西警黒埼幹部派出所
黒埼村交通安全対策協議会

ガス供給改善工事も初まる

村営ガスの供給を円滑にするため昭和四十五年事業として、大野町町域内において供給管の増設伏替工事が着手されている。更に本年度事業として近郊柳作、立仏、寺地内及び鳥原新田、金巻、木場上組地内までの本支管工事に着手する予定になっており道路の掘削等で交通に迷惑をおかけいたしますが本事業推進のため協力をお願いいたします。工期は村道分八月末農道分十一月末の予定であります。本村ガス事業については昭和

項目	数量	備考
取水ポンプ	1台	45年度予定
急速ろ過池	1池	45年度予定
急速沈澱池	1池	44年度予定
急速ろ過池	1池	44年度予定
急速沈澱池	1池	44年度予定
急速ろ過池	1池	44年度予定
急速沈澱池	1池	44年度予定
急速ろ過池	1池	44年度予定
急速沈澱池	1池	44年度予定
急速ろ過池	1池	44年度予定
急速沈澱池	1池	44年度予定

均二五、一日最大給水量六、七八八、一日平均四、三〇五と急増したため四十四年七月には遂に一時断水の非常事態を生じた。幸い八月以降は新設の急速ろ過池の竣工により平常給水が出来たが今後の社会の発展と水の需要の推移からこの計画を予定どおり遂行し、近代的な設備により清浄な水を豊富に供給し需要家に不安を与えないことを念願しており、又この事業に多額な資金を投入することから需要家各位のご理解とご協力をお願いしたい。